

市議会だより

12月定例会



宜野湾市議会からの政策等の提言に対する回答書手交式



市長より回答書を受理する正副議長及び各委員長

主な掲載内容

- ◎政策提言について 2
- ◎一般質問..... 3~10
- ◎11月臨時会の主な議案審議内容 10
- ◎12月定例会の主な議案審議内容 10~11
- ◎所管事務調査について..... 11
- ◎議決結果一覧..... 12

QRコードをスマートフォン等で
読み取って活用してください。



市議会
ホームページ

市長より回答を受理

本市議会において、議会基本条例第10条に基づき、本市議会10回目となる「議会報告及び市民との意見交換会」を実施しました。その結果、130件の市政等に関するさまざまな御意見、御要望を頂き、市議会として調査、協議を行った上で9月26日、市長へ政策提言(以下記載の2件)及び申し送りいたしました。そして、12月4日、政策提言に対する回答書を受理しました(下記参照)。今回の提言事項につきましては、引き続き当局の対応を注視してまいります。

政策提言に対する市長からの回答

1. 普天間交差点における交通渋滞対策について

国道330号普天間交差点は、令和6年12月より普天満宮向けの車線運用の見直しが行われたが、朝の通勤時間帯や夕方の帰宅時間帯など、以前よりも交通渋滞がひどくなっており、元の車線運用に戻すなど、市民から改善の要望も寄せられている。

南部国道事務所は、車線運用変更後に周辺の交通状況も併せて、交通量調査を行ったとのことであるが、調査結果を踏まえ、市としても状況把握に努め、早急に改善策を検討のうえ、国等関係機関に対し要請していただきたい。

【回答】

普天間交差点の車線運用見直しにつきましては、西普天間住宅地区における琉球大学医学部・大学病院の移転に伴う通学・通勤時間帯の渋滞対策として、国・県と連携して実施した経緯がございます。

琉球大学医学部が令和7年4月に開学したことから、南部国道事務所では同年6月に普天間交差点等の交通状況について調査を行っております。現在は、調査結果を踏まえ、今後の対策について国と協議を進めております。本市といたしましても、交差点周辺の状況把握に努めるとともに、対策の実施に向けて国をはじめ関係機関との協議調整を進めてまいります。

一方、中長期的な視点では、令和7年7月及び11月に普天間門前町や西普天間住宅地区など新たなまちづくりの価値向上、さらなる賑わいの創出を図るためにも、国土交通省や内閣府に対して、普天間交差点の抜本的な改良について本市と一丸となって検討に取り組んでいただくよう要請を行っております。今後も引き続き、国土交通省や内閣府に対して要請を行ってまいります。

2. 小中学校体育館への空調設備の設置について

近年、地球温暖化の影響により猛暑が常態化し、特に熱がこもりやすい体育館での学校行事や体育活動などを行うことによる熱中症リスクが懸念されており、児童生徒の健康と安全確保のため小中学校体育館への冷房設置について、市民からの要望が寄せられている。

学校施設は、子どもたちの学習生活の場であり、災害時には指定避難所としても活用される場であるため、熱中症対策だけでなく避難所機能の強化、耐災害性の向上が期待できる。

以上により、小中学校体育館への早急な空調設備の設置を検討の上、環境整備を実施していただきたい。

【回答】

学校施設は、子ども達の学習・生活の場であるとともに、災害時の指定避難所となっております。

市立小中学校体育館への空調設備の設置につきましては、熱中症対策や災害時の避難所機能の強化、耐災害性の向上につながることから、中学校の体育館・武道場への整備計画として令和8年度に設計を実施し、令和9年度からの工事着手に向けて取り組んでまいります。

また、小学校体育館につきましても、財源の確保や事業実施スケジュール等の検討について関係部署と連携し、早期の事業化に向けて引き続き取り組んでまいります。

★市議会ホームページから回答一覧をご覧ください。
次回開催は、令和8年5月頃を予定しております。



一般質問

今定例会は、21名の議員から市政全般について、多くの一般質問がありました。

市の様々な課題等について、議員が提言も含めて市に考えを聞く「一般質問」。各議員それぞれの切り口で市政を問います。



議会中継はこちらから



議会会議録はこちらから



各議員の記事から一般質問の録画映像がご覧いただけます。(スマートフォン等で読み取りください。)

【教育】 小学校におけるフッ化物洗口と疑問点について

その他の主な質問

- ◎市道長田一号沿い沖縄自動車道隣接市有地の桜木の維持管理について
- ◎市道長田四号の白線とグリーンベルトの設置について

- ◎議員 事業の実施状況と対応人数を伺う。
- ◎指導部長 大謝名小と志真志小で実施しており、スクールサポートスタッフや養護教諭等二名が担当し、教員も協力している。
- ◎議員 教育委員会が認める効果を伺う。
- ◎指導部長 大謝名小学校では虫歯のない児童の割合が平成二十九年度三四%から令和六年度五六%になり一定の効果があった。
- ◎議員 市内小学校全体で虫歯のない児童の割合が五二二%であるが、見解を伺う。
- ◎指導部長 虫歯は全体的に減少傾向だが、フッ化物洗口と健診で健康保持に努める。
- ◎議員 虫歯が減少していることは予防教育保健指導の効果であり、〇二%フッ化ナトリウムの過剰吸収は副作用の指摘もある。教職員の働き方改革の面からも理解は得られていないのではないか。
- ◎指導部長 安全性も確認されており、全ての児童に効果がある。現場の声を踏まえつつ、丁寧に進進を図ってまいります。
- ◎議員 フッ化物洗口を教員にさせないことを要望する。



我如古 盛英 議員



【防災】 防災行政無線の補完や代替えの為のスマホアプリ導入について

その他の主な質問

- ◎認定こども園移行の課題等について
- ◎市長の要請行動について
- ◎旧愛誠園跡地について

- ◎議員 防災行政無線の課題について伺う。
- ◎総務部長 防災行政無線は、市内全域に設置されているが、高層住宅などの遮断や風向き、天候などにより聞こえづらいエリアが発生すること、無線の音量が大きいとの苦情があることが課題として挙げられる。
- ◎議員 北谷町において、防災・防犯情報の一斉配信や学校、自治会向け情報アプリを開発しているが、把握しているか伺う。
- ◎総務部長 北谷町において全住民が公平に情報を受け取れる体制を構築すべく、住民、自治会、学校、保護者との連絡網と連携し、二元管理の元、一斉配信ができるシステムアプリを導入していると伺っている。
- ◎議員 変わりゆく時代の中で、本市はDX推進をうたっており、アプリの開発を積極的に進めるべきと思うが、見解を伺う。
- ◎総務部長 北谷町が導入しているアプリについては、防災行政無線の情報が届かないという課題に対し有効な手段と考える。本市においてどのような手法が有効か、事例も参考にしながら調査研究していきたい。



石川 慶 議員



【基地】 外来機の騒音について



宮城 優 議員



○議員 十一月四日から七日にかけ、ジェット戦闘機やヘリの離着が相次ぎ、百デシベルを超える爆音を確認している。騒音発生件数、苦情件数及び苦情内容を伺う。

○基地政策部長 十一月の騒音発生回数は、市内八か所での測定の合計が、七千五百三十三回となっており、苦情件数は三百九十一件となっている。主な苦情の内容として、「寝ていた子が大泣きして起きてかわいそう」「戦闘機の轟音がひどい」「二十二時以降に戦闘機が飛ぶのはあり得ない」などの苦情があった。

○議員 十一月だけで昨年度の三百四十一件を越えているが、市の対応について伺う。

○基地政策部長 沖縄防衛局長及び外務省特命全権大使沖繩担当に対し、外来機の飛来禁止及び航空機騒音規制措置の厳格な遵守を米側へ強く申し入れるよう要請した。また、市長と普天間飛行場司令官による普天間ミーティングにおいても、航空機騒音規制措置の遵守と市民生活へ最大限配慮するよう直接求めた。

その他の主な質問

○市民課窓口業務外部委託事業について
○パイプライン（マイハウス前）の交通安全対策について

【教育】 小中一貫教育の導入について



山城 康弘 議員



○議員 小中一貫教育の教育的特徴、義務教育学校の特徴について伺いたい。

○指導部長 小中一貫教育は、従来の六年間と中学校三年間という学年区分にとらわれないことなく、義務教育九年間を一貫した教育課程として編成、実施する取組であると認識している。その主な教育的特徴として、中一ギャップの解消、九年間を通じた系統的な教育の実現などが挙げられる。

○議員 小中一貫教育の導入についての見解を伺う。

○指導部長 教育委員会として小中一貫教育が目指す理念や考え方については重要であると認識している。今後については、小中一貫教育を実施している先行事例の状況等を踏まえ、効果的な取組について調査研究を行ってまいりたい。

○議員 将来的に小中一貫教育が教育環境に非常にメリットが大きいと思う。様々な検討の中からしっかりと前向きに進めていきたい。

○指導部長 調査研究を行ってまいりたい。

その他の主な質問

○学習等供用施設の維持管理について
○公金管理運用状況について
○乳幼児への支援策について

【教育】 小中学校における少人数学級の実現について



上里 広幸 議員



○議員 学力保障や不登校予防のため、少人数学級等を推進しているが、取組を伺う。

○指導部長 令和七年度は、小学校四校、中学校三校に加配教員を配置している。

○議員 少人数学級に関し教室確保について、以前質問した宜野湾中の対応を伺う。

○教育部長 令和五年に既設建物の構造的な課題等により増築は厳しい旨答弁した。その後、検証や協議調整し教室転用や兼用で対応可能との判断に至った。引き続き将来推計を注視し学校の意見を伺い対応する。

○議員 少人数学級による成果を伺う。

○指導部長 学力到達度調査で小学校四校中、二校が県平均を上回り、不登校についても小・中学校の各一校に改善が見られる。

○議員 教員の確保状況について伺う。

○指導部長 県全体で十一月時点、五十名の未配置が生じ、本市でも欠員が発生している。人材ネットワークや退職者情報の活用等、欠員解消に向け取組を継続している。

○議員 少人数学級は効果のある良い取組であり、課題を克服し今後も推進願いたい。

その他の主な質問

○神山一丁目における排水路整備の進捗状況について
○消防本部におけるドローンの活用について

一般質問

【環境】ペットボトル（資源ごみ）回収について

その他の主な質問

- ◎保育を必要とする事由について
- ◎こども誰でも通園制度について
- ◎学校給食における二次調理食の提供について

◎議員 議会としても政策提言をしているが現在どのような検討段階なのか伺う。

◎市民経済部長 資源ごみ収集日に、ペットボトルの収集を併せて毎週回収する手法で、その準備を進めている。

◎議員 いつからスタートできるか伺う。

◎市民経済部長 令和八年度の事業化へ向け予算要求、債務負担行為の計上を行っており、調整や周知を行い令和八年度中の適切な時期に実施を予定している。

◎議員 毎週回収することによってどのくらいの予算が伴うか伺う。

◎市民経済部長 令和七年度予算と比較をして、約三千万円程度の増を見込んでいる。

◎議員 予算増も伴うため、市民全体でごみの減量化につなげていく啓発ができればよいと考える。併せて倉浜衛生施設組合の職員の土曜日の配置体制も負担が大分軽くなる。市民の皆さんが自分たちの生活をよくするために、自分たちで声を上げて、それが政策反映につながった。その英断をしていただいた市当局に感謝する。



又吉 亮 議員



【地域】安仁屋地区の拝所（ウガンジュ）の移設について

その他の主な質問

- ◎喜友名公園整備計画について
- ◎宜野湾市身体障がい者福祉協会の所在地について

◎議員 本件は、十一年前から何度も質問させていただいている。戦前宜野湾市には安仁屋地域があったが、戦後、米軍に地域の全部を接収され西普天間地域の返還で安仁屋の一部が戻ってきた。しかし、ウガンジュは返還外にあるため、ウガミのたびに米軍へ許可申請をしてウガミを行っており非常に不便な状況である。今年六月に、安仁屋郷友会と十一回目の意見交換会を実施したと思うが、その内容を伺う。

◎基地政策部長 未返還地内にあるウガンジュの移設に関し、西普天間住宅地区公園内の土地占用も含めた移設可能性について意見交換を行ったところである。

◎議員 安仁屋郷友会の皆さんは、ほとんどの方がご年配である。できるだけ早めの実現していただきたいが見解を伺う。

◎市長 早期に移設できるよう様々な手法を検討しながら当然のことながら、米軍の調整も含めできる限り早い時期に移設ができるよう全力で取り組んでいきたいと思う。

◎議員 早急によりしくお願いしたい。



知念 秀明 議員



【まちづくり】山口県岩国市との姉妹都市提携について

その他の主な質問

- ◎国保財政健全化に向けた取組について
- ◎火災予防に向けた取組について

◎議員 交流の経緯について伺いたい。

◎市民経済部長 平成二十六年に普天間飛行場から岩国飛行場に空中給油機が移駐したことがきっかけとなり、岩国市議会でも本市との姉妹都市縁組を求める議決が可決されたあと、行政や議会、民間など交流を重ね令和七年七月一日に姉妹都市を締結した。

◎議員 さまざまな分野で交流を積み重ねてきたと思うが、詳しく答弁願いたい。

◎市民経済部長 コロナ収束後、両市の経済交流や文化協会主体の文化交流、次代を担う中学生の教育交流、宜野湾区青年会のエイサー披露など、観光、教育、文化・スポーツなど多方面の交流を重ねてきた。

◎議員 今後、さらなる友好を深めるための方策を伺いたい。

◎教育部長 岩国市との文化、芸能において子供から大人まで幅広く文化交流ができるように取り組みたい。

◎市民経済部長 関係団体と連携し、本市西海岸の観光資源を生かした交流など両市の経済活性化につながる交流を検討したい。



伊佐 哲雄 議員



【経済】物価高騰対応について

その他の
主な質問

◎普天間飛行場の負担軽減及び関連
施策について
◎私道整備への補助事業について

◎議員 国の令和七年度一般会計補正予算（第一号）における物価高騰対応重点支援
地方交付金の本市への交付限度額を伺う。
◎企画部長 当該補正予算（第一号）成立
の同日付に出された内閣府からの事務連絡
にて、約十億四千万円が示されている。
◎議員 国からは早期に交付金を活用し物
価高に対する生活者支援、事業者支援を行
うよう求められているが、市の対応を伺う。
◎企画部長 現在検討している状況である
が、できるだけ早期に市民及び市議会にお
示しできるように、検討を進めてまいりたい。
◎議員 生活者支援については、幅広い市
民への支援策として地域経済への波及効果
を狙える商品券等の発行、事業者支援につ
いては、市商工会と連携しニーズの把握に
努め、支援実施へ迅速に対応していただき
たいが、いかがか。
◎企画部長 議員御提言も踏まえ、より多
くの市民及び事業者に支援が行き渡り、広
く負担軽減につながる施策を早期に実施で
きるよう最大限取り組んでまいりたい。



平安座 武志 議員



【こども】若年性妊産婦の支援体制について

その他の
主な質問

◎児童館運営及び設置の進捗につ
いて
◎基地行政及び負担軽減の取組につ
いて

◎議員 県の若年妊産婦支援促進事業につ
いて本市が把握している内容を伺う。
◎こども部長 一つ目は、イベント的に開
催する若ママ応援すぽっと。二つ目に県の
モデル事業として読谷村の助産院で実施し
ている若年妊産婦の居場所を視察してきた。
若年妊産婦が参加しやすく、様々なサポー
ト体制が工夫されており参加した担当者か
らもよい感触を伺っている。
◎議員 私も若ママ応援すぽっとmini
を見学したが、若ママたちがリラックスで
きる環境で、その居場所が行政とのパイプ
役にもなっており、細かい支援が行き届い
ていると感じた。本市でも若年妊産婦の居
場所を設置してほしいが、いかがか。
◎こども部長 本市でも今後進めていき
たいと考えており、検討している段階である。
◎議員 県の若年妊産婦支援促進事業に
応募し、このすぽっとminiの居場所を本
市で設置しようとする準備をしている方が
いる。その事業化に向け、計画も同時に進め
若年妊産婦の支援をしていただきたい。



伊佐 文貴 議員



【福祉】シルバーパスポート事業について

その他の
主な質問

◎選挙に立候補しやすい環境への取
組について
◎子どもたちが増えるまちづくりを
目指した保育行政について

◎議員 同事業の目的と種類を伺う。
◎健康推進部長 六十五歳以上の方の外
出機会を増やし生きがいづくりを応援する
目的で、シルバーパスポートカードとシル
バーパスポートクーポン券の二種類あった
が、現在カードのみの実施である。
◎議員 令和元年はクーポン券の対象者約
九千二百人のうち半数が利用しているが、
クーポン券休止の理由を伺う。
◎健康推進部長 高齢者本人以外が利用
するケースなど事業目的でない利用状況も
見受けられたことから、財政状況が厳しい
当面の間休止している。
◎議員 クーポン券は一人当たり年間六
千円。条件を七十五歳から八十歳に変え
ると年間四百万円程度抑制できる。六千
円あれば外出機会も一、二回増えると思
う。使い道もタクシーや薬局が主だった
と聞く。高齢者の交通手段が課題とな
っているなか解決の手助けや市内事業
者への物価高対策にもなる。宜野湾市
がより元気になる政策として改めて再
開を検討していただきたい。



座間味 万佳 議員



一般質問

【こども】公私連携幼保連携型認定こども園の運営(実施・準備)状況について



宮城 克 議員



◎議員 本市では、公私連携型認定こども園へ移行する取組を進め既に開設された大山こども園に加え、令和八年度には嘉数こども園、普天間第二こども園が新たに開設される予定だが、当初の募集条件の一つに徒歩通園を原則としており、保護者から三歳から五歳児の毎日の徒歩通園は難しいとの声が多く寄せられたと聞いているが、大山こども園のその要因について伺う。

◎こども部長 当初校区内にて徒歩登園が可能の子供たちを受け入れる方針であったが、遠方からの入園を希望する子供達が多く、不便さを感じる声が寄せられていることを認識している。

◎議員 登園時の送迎車両の件で、しの上めこども園の実情も聞かせていただいた上で、大山こども園については隣接する小学校体育館下のげた履き駐車場、嘉数こども園については隣接する本市保健相談センターの駐車場、普天間第二こども園については裏門側の駐車スペース、ユニオン向い側を利用出来ないか検討していただきたい。

その他の主な質問

◎沖繩に関する特別行動委員会(SACO)最終報告による返還合意から三十年目を迎える市の見解について

【健康】HPV(子宮頸がんワクチン)について



プリティ 宮城ちえ 議員



◎議員 ワクチンはメリット、デメリット両方がある。今、全国では、被害者が百十七人も出ていて、訴訟も行われている。医療機関を受診する前に、市がリスク情報をしっかりと伝えなければいけないと思うが見解を伺う。

◎健康推進部長 医療機関受診前にリスク情報を伝えることは、大変重要なことと認識している。ワクチンの効果に加え、接種後の副反応等についても十分に理解した上で接種の判断ができるよう、案内をしているところである。

◎議員 沖繩の被害者が三人いて、そのうち二人は、副作用で今も苦しんでいる。激しい頭痛や腹痛、様々出てきたときに地元病院や県外にも行ったが、原因が分からず、三年ほどたつてやっと子宮頸がんワクチンによる副反応ということが分かったそうである。リスク、副反応を知らせて、その副反応が出たときはどの病院を受診するなど、しっかりと知らせていくことが求められていると思う。

その他の主な質問

◎はり・きゅう・マッサージの施術利用券について
◎友好都市中国廈門市派遣事業と交流について

【まちづくり】PPP/PFIの地域プラットフォームの設置並びに地域資源の活用について



上地 安之 議員



◎議員 地域資源活用の必要性及び、そのメリットについての認識を伺う。

◎企画部長 PPP/PFIの推進を図る上で、地元事業者の参画を促し、地域経済の発展につなげていくことが重要である。

◎議員 官民連携や市民参画を促すプラットフォームの在り方において、国の制度を活用するのが、それとも本市独自に制度を立ち上げるのか方向性を伺う。

◎企画部長 本市主体の地域プラットフォームを形成する際は、適したスキームを摸索し、行政・地元企業等の共通認識を醸成する必要があるため、PPP/PFIの勉強会を開催した。立ち上げの際には、地元企業や金融機関と相談し、本市独自の仕組みを検討し、構築していく考えである。

◎議員 本市として、独自のローカルPFI体制を構築してもらいたい。かがが経済の発展につなげていくことは重要なことと認識している。地元事業者との意見交換ができるよう進めてまいりたい。

その他の主な質問

◎学校徴収金の公会計移行への取組について
◎自治会長及び書記の給与適正化の取組について

【教育】子どものいじめ・不登校対策について



下地 崇 議員



○議員 本市の不登校児童生徒の増加要因と学校復帰に向けた取組について伺う。

○指導部長 不登校に至る経緯は、家庭環境や友人関係、学習面での困難が複合的に影響し、精神的な不安等に作用することが多いと認識している。復帰に向けた取組については、教育相談や養護教諭等との面談、支援教室の活用などの支援を行っている。

○議員 校内フリースクールやスペシャルサポートルームの取組状況について伺う。

○指導部長 令和六年度より市内四中学校に校内自立支援員を配置し、学習支援や学級復帰支援等を実施している。令和六年度は一〇五名を支援し、一八名が授業参加につながっている。

○議員 不登校特例校の設置について本市の見解を伺う。

○指導部長 現時点で設置予定はないが、学びの選択肢を広げる観点から、今後の不登校対策として慎重に検討してまいる。

○議員 不登校対策は早期発見が重要である。学校現場の皆様の取組に期待したい。

その他の主な質問

- 放課後児童クラブ施設に係る取組及び課題について
- 外来機飛来による騒音抑制の取組について

【教育】ラーケーション導入について



伊波 一男 議員



○議員 与那原町立小中学校に十二月から導入される年三日間の平日休暇を取得できるラーケーション制度について伺う。

○指導部長 ラーケーションとは学習と休暇を組み合わせた造語で、児童生徒と保護者が学校のある平日に教育的な活動を伴う休暇を取得することで、家庭や地域における多様な学びや体験を促す教育の新たな形として現在注目を集めている取組である。

○議員 与那原町以外の取組を伺う。

○指導部長 本県において制度を実施している自治体は、座間味村がある。中城村も次年度四月から制度導入に向け準備が進められていることを伺っている。

○議員 制度の導入効果を伺う。

○指導部長 子供が家庭や地域にて豊かな学びや体験を得る機会となること、保護者の休暇取得・働き方改革等の推進への寄与、平日の旅行需要を創出し、観光振興や地域経済の活性化に資することが挙げられる。

○議員 近隣市町村が始まっているから後追いではなく、ぜひとも進めてもらいたい。

その他の主な質問

- 野高第一公園整備事業について
- 認知症高齢者等おかしり支援ネットワーク事業について

【上下水道】人工衛星を活用した漏水調査システムの導入について



嶺井 拓磨 議員



○議員 水道管の老朽化が進行するなか、漏水は地中にあるため発見が難しく、調査は人手と時間に大きく依存している。本市における配水管の劣化や更新の課題について、市の認識を伺う。

○上下水道局長 配水管の耐用年数超過は深刻な課題であり、漏水や事故のリスクが高まっている。本市ではA-Iを活用した管路調査を行い、更新の優先順位を定め、計画的な老朽管更新に取り組んでいる。

○議員 従来の巡回点検に加え、人工衛星とA-Iを活用した漏水調査システムの導入を提言する。人工衛星により漏水ポイントをメートル単位で特定でき、調査効率を高める有効な手法と考える。導入について市の見解を伺う。

○上下水道局長 人工衛星による漏水検知は調査精度の向上や職員負担の軽減が期待でき、維持管理コスト削減にもつながる有益な技術である。導入コストや運用体制を検討し、導入に向け調査研究を進めてまいりたい。

その他の主な質問

- 共有不動産の固定資産税納付について
- 市営住宅の募集倍率と今後の方向性について

一般質問

【防災】本市のフェーズフリーの推進について



岸本 一徳 議員



○議員 フェーズフリーの意味及びその考えに基づく本市の防災対策を伺う。

○総務部長 平常時と災害時を分けない防災コンセプトであり、取組はローリングストック備蓄食料、かまどベンチ、発電機、テント、LEDバルーンライト、ポータブル蓄電池等の整備である。

○議員 他自治体の事例を認識しているか。

○総務部長 まちづくり大賞の徳島県鳴門市開業の商業施設「くるくるなると」は、平時は道の駅として地域特産品の販売、災害時は屋上を津波避難スペースに活用される。また、東京都豊島区の防災公園「イケサンパーク」は、平時は区民の憩いの場、災害時は帰宅困難者の一時避難場所や救済物資の集積所としてヘリポートを整備、「イケバス」は非常用電源として活用される。

○議員 フェーズフリーの視点を取り入れたまちづくりを提言し、市長の見解を伺う。

○市長 その視点は、防災減災力強化に重要であり、まちづくりや公共施設整備について、研究しながら積極的に取り組みたい。

その他の主な質問

○特定健診及びがん検診の受診率向上の取組について

○交通安全対策について

【教育】小中学校におけるアイデンティティー教育について



松田 朝仁 議員



○議員 本市の小中学校でアイデンティティー教育に取り組んだ実績はあるか伺う。

○指導部長 特定の教科として位置づけられているものではなく、道徳や総合的な学習時間、特別活動を通じ、未来を担う子供たちが自己理解や価値観を大切にしながら他者や社会との関わり方を探求する学習活動が各校で行われていると認識しており、長田小、大山小学校を含め実践の報告を受けている。

○議員 教育こそ国づくりの根幹であり、良いものは絶対に置き去りにしてはいけない。教育現場での諸問題解決につながるの

○指導部長 自己理解や自己肯定感の向上を通じ困難に直面した際の対処力を高める事につながり、いじめの未然防止や不登校の改善に寄与する可能性を有するものと考ええる。

○教育長 未来を切り開く人材育成と児童生徒の心の成長、内面の充実につながる学習支援を今後も行ってまいりたい。

その他の主な質問

○学校施設の地域開放について

○多文化共生事業について

○健康まちづくりについて

○森林環境譲与税の活用について

【地域】老朽化した自治公民館等の建て替えについて



屋良 千枝美 議員



○議員 築五十年以上経過し老朽化した公民館の建て替えや改修工事の重要性を伺う。

○市民経済部長 自治公民館は地域住民の交流や活動の拠点である。建て替えの補助額を従来の二千五百万円から四千万円へ増額し、引き続き運営の支援に努めてまいらる。

○議員 コミュニティ供用施設への設定など公民館建て替え工事の事業内容を伺う。

○市民経済部長 宜野湾区、野高一区、普天間三区公民館の整備を計画している。工程については、令和八年度に測量業務、九年度より実施設計、そして十年度及び十一年度に建設工事を予定している。

○議員 他事業と同時進行で整備を進めるが、業者の選定など施設整備計画を伺う。

○企画部長 防衛施設周辺整備統合事業において、三か所のコミュニティ供用施設の整備、四か所の公園整備事業を予定している。それぞれの施設を令和八年度から令和十一年度にかけて整備してまいらる。

○議員 公民館建設が計画どおりに進められることを期待して見守ってまいりたい。

その他の主な質問

○安心して子どもを産み育てられる環境づくりについて

○米軍機の爆音及び外来機飛来状況から市民を守る対策について



棚原 明 議員



【まちづくり】ふんしんせせらぎ通りの維持管理について

その他の
主な質問

◎高齢者インフルエンザ予防接種の
接種率向上と負担軽減について

◎議員 伊佐地区住宅街の一角に、水路のある遊歩道ふんしんせせらぎ通りがある。平成四年度に手づくり郷土賞として国土交通大臣賞を受賞した歴史ある施設は、せせらぎシーサー通りの皆さんの日々の管理を担い、令和二年には花と緑のまちづくりコンクール沖縄タイムス社長賞も受賞している。供用開始から三十八年が経過し、老朽化が各所にみられ、歩行部の根上がりによる危険性や水路の泥蓄積など、通り会からの要望に対して市の見解を伺いたい。

◎建設部長 危険箇所から優先的に改善を検討し、しゅんせつ作業等は、通り会のご意見をいただきながら検討してまいりたい。

◎議員 清掃時において部分的に水を抜くことができる施設改修について見解を伺う。

◎建設部長 通り会のご意見や専門業者のアドバイスをいただきながら改善策を検討してまいりたい。

◎議員 歴史のあるせせらぎを次世代に引き継ぐため、しゅんせつ工事をはじめとする通り会の要望の実現をお願いしたい。



外務省沖縄事務所



沖縄防衛局

意見書の詳しい内容は
こちらから



十一月臨時会 主な議案審議内容
普天間飛行場における外来機の騒音被害に関する意見書
可決

令和七年十一月二十五日、十一月二十六日に議長及び基地関係特別委員会委員で外務省沖縄事務所及び沖縄防衛局を訪れ、意見書を手交しました。

※要望事項のみ記載

- 一 ジェット戦闘機をはじめとする外来機の飛来を禁止するとともに、在日米軍の任務遂行にかかわらず、騒音規制ができるよう「普天間飛行場における航空機騒音規制措置」を見直し、遵守すること。
 - 一 普天間飛行場を絶対に固定化せず、市民の強い願いである一日も早い閉鎖・返還と速やかな運用停止を実現すること。
 - 一 普天間飛行場の返還が実現するまでの間ににおける危険性除去及び負担軽減について、目に見える形で着実に実施すること。
 - 一 日米地位協定を抜本的に改定すること。
- 以上、地方自治法第九十九条の規定により意見書を提出する。

重度障害者大学等修学支援事業の実施について

採択

陳情の主な内容は、重度障害者が大学等で学びたいというニーズに応えるために、通学や授業中に活用できる「重度訪問介護利用者の大学等修学支援事業」があり、息子の大学進学にあたり、このサービスを利用したい市民がいるが、本市では未実施であるため、迅速な実施を希望する内容である。

委員会審査では、事業実施の際には利用者の負担がない方向で検討しているのかについて質疑がなされ、これに対し、利用者の自己負担分については、これから要綱を整備するに当たって、他市町村との整合性等を含めながら検討していきたいとの答弁がなされた。

本会議の表決にあたっては、本陳情の趣旨に賛同し、全会一致で採択された。

12月定例会
令和7年度宜野湾市一般会計補正予算(第4号)を全会一致で可決

第469回宜野湾市議会定例会は、12月4日から23日までの20日間の会期で開かれました。
今定例会は、令和7年度宜野湾市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)を含む37件にわたる議案等が審議され、21名の議員による一般質問も行われました。

主な議案

- 令和7年度宜野湾市一般会計補正予算(第4号)
- 宜野湾市保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例について

議事日程・議決結果
等の詳細はこちら



令和六年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について

認定

委員会審査においては、自治会育成補助事業における事務所改修補助金の実績について質疑がなされ、これに対し、公民館フェンス修繕や夏場の空調機修理など人命に関わる緊急性を要する内容については、財政部署とも相談をしながら予備費等で対応できるように調整をしているとの答弁がなされた。

委員からは、公共施設等個別施設計画のとおり進めていくためにも、公共施設等整備基金を活用することで、施設の長寿命化によるライフサイクルコストの圧縮を図るべきとの提言がなされた。

次に、はごろも祭り・カチャーシー大会運営事業における集客数について質疑がなされ、これに対し、広報の強化や熱中症対策など環境整備を行ったが、大雨による影響もあり、二日間で延べ約五万五千人が来場したとの答弁がなされた。

委員からは、来場者十万人を目標としている本市の一大イベントであるため、マンネリ化させないような取組を宜野湾市側からも強く提案していくこと、近隣自治体の祭りとの同日開催を避けることの検討や、花火を日曜日のみ開催することの費用対効果の整理についても提言がなされた。

また、歳出全体における会計年度任用職員の未配置による報酬の不用額について質疑がなされ、一部の業務において、派遣契約に切り替えを行う事例もあることから、そのような事例について全庁的に共有したいとの答弁がなされた。

委員からは、民間活用を含め、市民サービスの低下がないよう有効手段を整えていただきたいとの提言がなされた。

本会議の表決にあたっては、全会一致で認定された。

宜野湾市保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例について

可決

宜野湾市立幼稚園・保育所の認定ごとも園移行等に関する基本計画に基づき、令和八年三月三十一日をもって、宜野湾市立うなばら保育所を廃止するため、条例の一部を改正する内容である。委員会審査では、うなばら保育所の廃止に至るこれまでの取組、現状について質疑がなされ、これに対し、廃止に向けた調整に関しては、令和六年度から段階的に児童の入園に制限をかけ現在、うなばら保育所は零から一歳児はならず、五歳の卒園児を除き、二から四歳児については来年度に向けて転園調整を進めているとの答弁がなされた。また、公立の役割についての質疑もなされ、これに対し、公立保育所及び公立認定ごとも園においては、質の高い教育・保育環境の確保と市全体の子育て支援の充実を図るため、市内保育施設の拠点的役割を担っていきたいとの答弁があり、さらに委員からは、公立が持つ役割として保育士確保等を含め、今後とも考えていただきたいとの意見がなされた。本会議の表決に当たっては、全会一致で可決された。

監査委員の選任について

同意

議案の主な内容は、現監査委員の宮城豊信氏が令和七年十二月二十四日付で任期満了するので、その後任に、米須清盛氏を任命するため、地方自治法第九十六条第一項の規定により、議会の同意を得る必要があるとの内容である。本会議の表決に当たっては、全会一致で同意された。



米須 清盛 氏

教育委員会委員の任命について

同意

議案の主な内容は、現教育委員の仲村和也氏が令和七年十二月二十五日付で任期満了するので、その後任に玉城健蔵氏を任命するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第四條第二項の規定により、議会の同意を得る必要があるとの内容である。本会議の表決に当たっては、全会一致で同意された。



玉城 健蔵 氏

委員会 所管事務調査



日程：令和八年1月21日～23日
視察先：福岡県北九州市、飯塚市
視察項目：【北九州市】

- ・北九州市道路サポーター制度について
 - ・健康省エネ住宅KitaQ ZEHについて
- 【飯塚市】
- ・コミュニティ交通について



日程：令和八年2月2日～4日
視察先：山口県宇部市、下関市
視察項目：【宇部市】

- ・新庁舎建設事業について
- 【下関市】
- ・下関ウォーターフロント開発について

経済建設常任委員会

総務常任委員会

